

図書館だより

彦成中学校図書館
令和2年10月 第4号



気温差が激しく変わりやすい季節も終わり、朝晩が涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。秋と言えば「〇〇の秋」とよく言われますが、何をイメージしますか？食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、色々な言葉が思い出されますが、是非とも「読書の秋」を楽しんでみてください！！

お知らせ

読書の秋にちなんで、みなさんに「いちばん好きな本」をカードに記入してもらいイベントを行います。好き、感動した、怖かった、思い出に残っている・・・など、どんな一番でもかまいません(マンガ以外で)。今までに読んだ本の中から、『おすすめの1冊』を紹介してください！

秋の読書月間

10/5(月)～10/29(土)

ひとし5冊まで



★おすすめ本を紹介します 人権教育コーナーに展示中★



「人権を考える本～人が人らしく生きるために～」(全7巻) 岩崎書店
人権をおびやかされた人々が、その回復のために立ち上がり「人が人らしく生きる」ために努力した具体的な例を紹介するシリーズ。

「かさをささないシランさん」谷川俊太郎+アムネスティ・インターナショナル/著
シランさんはある日突然逮捕され牢屋に入れられてしまう。理論社
みんなと違うことをしているから…。人間の自由を考える本。

新しい本が入りました



2020年度読書感想画コンクール指定図書5冊を紹介します。図書館に展示中！

「もえぎ草子(そうし)」 久保田香里/作 tono/画 くもん出版

平安時代なかごろの京の都。大内裏で下働きを始めた萌黄は、清少納言や、路上の歌うたいとの出会いを経て、言葉を広める“紙”の魅力に惹かれていき…。枕草子から生まれた物語。枕草子「うれしきもの」に「陸奥紙(みちのくがみ)」があげられています。また、この物語の中には、清少納言も登場します！

「王の祭り」 小川英子/著 ゴ布林書房

女王陛下の皮手袋を作るため、父親とケニルワース城へ向かった少年ウィルは、そこで女王暗殺の計画に巻き込まれる。妖精の力を借りて女王を助けようとするが…。16世紀のイングランドと日本を舞台に、時と処を超えて繰り広げられる壮大な歴史ファンタジー。

「ゴースト」 ジェイソン・レノルズ/著 ないとうふみこ/訳 小峰書店

少年キャスは、父親に銃を向けられ、家から逃げ出した過去がある。足の速さから自分でつけた呼び名は”ゴースト” 中学の陸上チームに入った彼は、チームメイトたちとの関係を通し、自分の才能と弱さに向き合っていく…。

「戦場の秘密図書館～シリアに残された希望～」 マイク・トムソン/著

小国綾子/編訳 文溪堂

政府軍により完全封鎖され、日々空爆される。それでも人々は「本」を糧に絶望的な状況を生き抜いた！シリア内線下、ダラヤの町の地下にできた秘密図書館を守った若者たちの感動のノンフィクション。

「よみがえった奇跡の紅型(びんがた)」 中川なをみ/著 あすなろ書房

沖縄を代表する伝統工芸の紅型は、琉球王朝時代に完成したが、明治末期には衰亡の一途をたどっていた。「紅型」に魅せられた芸術家たちによる奇跡の復活と再興を描いたノンフィクション。